

毎号、研究員をクローズアップして、業務内容や仕事に対する思いをご紹介します。



Vol.
12

生活技術開発セクター
副主任研究員

さ さ き な お り
佐々木直里

大学時代は、有機化学合成を専攻。
趣味はコンサート観賞。



わたしの
おススメの本

「合成香料 - 化学と商品知識」※
印藤元一 / 化学工業日報社
ISBN 4-87326-460-X

各成分の性状(どんなにおいか)が記載されている
この本とにらめっこする毎日です

近年増加する「におい」への関心、そのニーズに応じていく

お客さまの問題解決に 直接関われる充実感

現在、私が担当しているのは、「におい」関連の分析です。製品に付着した悪臭・異臭の分析や消臭・脱臭製品の性能評価を行っています。

専門的な知識だけでなく幅広い知識を必要とする業務内容が、自分自身のステップアップにつながると考え、都産技研に入りました。

お客さまの声を直接聞くことができるという環境は、都産技研で働くモチベーションになっています。実際にお客さまからのご相談で、悪臭の原因物質を特定できたことで、製造工程の改善につながったとご報告をいただいたときは、大変うれしかったです。このようにお客さまとさまざまな課題を一緒に解決していくことに大きなやりがいを感じています。

あいまいな「におい」の 新たな評価方法を研究

「におい」は、普段から身近にある存在のため、分析も容易にできると思われがちです。実際は、分析装置よりも人間の嗅覚の方が優れている場合があります。特に問題となる悪臭成分は、人間

の嗅覚の方がはるかに感度がよいため、その悪臭成分を分析装置では、特定できないことがあります。そのため、分析の前にある程度どんなにおい成分が影響しているのかを把握し、それに合った分析方法を選択する必要性があり、自身の嗅覚でスクリーニングを実施しています。このスクリーニングで見当がつけられるよう、日ごろからさまざまなにおいを嗅ぎ、記憶するトレーニングに取り組んでいます。

また、「におい」は、個人の記憶・経験によって好き嫌いが大きく変化するため、万人に当てはまる基準や指標がありません。そこで、「におい」をより客観的に評価できる指標を作製すべく、官能検査と分析装置を駆使した新しい評価方法を研究中です。

近年、製品の「におい」に重点を置く企業が増えてきており、さまざまな分析依頼やご相談をいただく中で、明確な回答が出せず、力不足を痛感するときもありませんが、多くニーズにお応えできるように、これからも日々知識や技術の習得に取り組んでいきます。



疲れて帰宅した時は
この子たちにいつも
癒されています



きれいな海を
見に行くのが一番の
楽しみです

お問い合わせ 生活技術開発セクター<墨田支所> TEL 03-3624-3731

※この本は現在売り切れです。改訂増刷も未定です。